

令和2年度まちかどミーティング会議録

開催日 令和2年10月20日（火）

地区 大成町・光洋町地区

会場 日吉総合福祉会館

〈意見交換〉

○司会 それでは、続いて、意見交換の時間に移りたいと思います。

この時間は、町内会からの要望事項やテーマプレゼンテーションの内容のほか、地域の課題等に対する意見交換を中心に、遅くとも8時には終了するように進めてまいります。お時間に限りがございますので、お一人につき1点ずつ、3分以内で簡潔にご発言いただきますようお願いいたします。

なお、町内全体に係らないような個人的な要望や苦情等につきましては、発言を制止し、まちかどミーティング終了後、個別にお話を伺わせていただくことといたしますので、あらかじめご了承ください。

また、今年のまちかどミーティングは、全体の参加人数を制限するため、市側の出席者につきましても例年よりかなり少なくなっております。そのため、ご意見の内容によりましては本日この場での回答が難しいものもあると思われませんが、その場合には担当部署に引き継ぎ、後日改めてご回答したいと思いますので、ご了承ください。

なお、ご発言する際には、最初に町内会名とお名前を述べましてからご発言をお願いいたします。

事前要望に関する意見の場合には、併せて何番目の要望に関するものなのかもお知らせください。

最後に、繰り返しのお願いとはなりますけれども、ご発言はお一人につき1点ずつ、3分以内でお願いいたします。

それでは、ご意見のある方は、マイクをお持ちいたしますので、挙手をお願いいたします。いかがですか。

どうぞ。

◆市民 大成町公住町内会の■■■■をやっております■■■■でございます。

言われたこととちょっと違うかもしれませんが、市営住宅の整備計画ということで、平成29年から令和の2年10月の20日、今日まで、うちのはなしょうぶ1と、大成公住というのは8棟で各自治会が持っております。それで、私ははなしょうぶ1棟の■■■■をやってるものですが、この市営住宅整備計画で空き家、これを来年の令和3年6月までだと思ったんですけども、その間、空き家をそのままにして、改めてその空き家に対する状態を市のほうで考える、入居させるということですね。それで、今まで私の棟、今日を含めて25部屋空いてるんです。この25部屋というのは、自治会にとっては、大変な空き家だというのは重荷なんですよ。

ということはなぜかという、うちの棟は1, 400円、これ共益費1, 000円、自治会費1000円、町内会費1000円、雑排水管の清掃代積立金2000円ということが毎月の居住者の1世帯の状態です。それで今現在130世帯入居、156世帯の自治会なんですけれども、25世帯空いていて、1戸は会議室になってますんで、それで130、それで一応計算しますと、年間42万ぐらいのお金が入ってこない。そういうような計算になりますんでね、これを何とかということで、市のほうでは共益費の電気料、これを認めてやっていただいております。それが一月1世帯500円ちょっとなんです。そうすると3か月で、その戸数によりますし、電気の使用量によりますけれども、多いときで3万8, 000円ぐらい、最初のときは少なかったですから1万6, 000円ぐらいですけども、今はもう3万8, 000円から4万になります。これが大変な、二十何万入るところが4万ぐらいということですから、自治会でも大変な状態になっておりますんで、その点、市役所のほうの方の意見を聞いておきたいなと、そのように感じます。以上です。

○司会 ありがとうございます。

市営住宅の整備計画に伴う空き家について、それでは、市のほうから回答お願いいたします。

◎住宅課長 ご苦労さまです。市営住宅を担当してます住宅課の深藪と申します。よろしくお願いたします。

今、■■■■さんのほうからご意見いただきましたけれども、市営住宅の整備計画に伴って、建て替えの仮移転ということで、新しく移転される方のために、空き家を、大成、公住も含めてつくっているという状態で、現在、空き家が大成の■■■■のところであれば25世帯あるというような状況になってますし、その他の棟においても空き家が発生してるという状況になってます。そのための支援というのは、今、■■■■さんおっしゃられたとおり、電気代の助成と、それと雑排水の部分の負担をさせていただいてるということで、この制度については、継続して進めたいなというふうに思ってますけども、肝腎の空き家の補填の部分なんですけども、現在、末広の公住の建て替えのために移転ということで、大成町も含めて政策空き家に移転を進めているところでございますので、来年からは、今年も10月末からは末広のほうから空き家等に移転を開始しておりますし、来年度については、これが本格化するんで、今の空き家というのは徐々に減っていくというふうな形になろうかと思えます。それと、その次については、山手の建て替え、それで大成町の1、1、2というところの建て替えもございますので、空き家の数、特に■■■■のところについては、今後埋まっていくということで考えていただければなというふうに思えます。ちょっと答えになってないかもしれないですけど、そういうことをご理解いただきたいと思えます。

○司会 よろしいでしょうか。

◆市民 はい。

○司会 ありがとうございます。

それでは、ほかにございませんか。

はい。

◆市民 西町親交会の■■■■といます。よろしくお願ひします。

要望番号1について、ちよつとお話させていただきたいと思ひます。日吉町内会でコミュニティセンターの建設要望というのが出てますが、西町親交会も十二、三年前にこのコミセンについては要望した経緯があります。それはこういうふうにな文書で出したわけではなくて、当時、このお話し合ひの中で出したわけですが、今回のこれを見て、ああ、あのときの我々が出した要望と同じだなと思ひながら、日吉町内会で出されたこの要望について、西町親交会としても同じような考え方であるということ、ここで表明したいなという形でお話をさせていただいています。

鉄南地区にこういうセンターというのはなく、要するに、線路を渡ってコミセンに行くなどということについては、非常に都合、不便というものを感じている。さらに最近では高齢化も激しく、なおそういうようなこともあるので、ぜひこの反映区分ではBになってますが、西町親交会も同じ考えであるということも含めて、Bが少しでもAに変わっていくような形になればというふうな思ひでお話をさせていただきました。ありがとうございます。

○司会 ありがとうございます。

それでは、市のほうからの回答お願ひいたします。

◎市民生活課長 お世話になっております。地域担当をしております、コミュニティセンター所管しております市民生活課の野水と申します。よろしくお願ひをいたします。

今、西町親交会さんからもお話しいただきましたが、日吉町内会さんのご要望、お答えをさせていただいてるとおりなんですけれども、現在、市としましては、公共施設の適正配置計画、そして管理計画というような形で、現存の施設を長寿命化図っていく中で、いかにその施設を有効活用していくかと。これは私どものコミセンだけでなく、市の公共施設全体の中で今、計画を進めているところでございます。地域的にこの鉄南地域、公共施設、コミセンがないというようなことで長年いただいておりますが、私が言うのもおこがましいんですが、現状の状況では、市として、この地域に新たな公共施設を建設をしていくというような部分が今は計画上にはないということで、私ども通常の業務させていただいておりますので、コミセンという部分では、地域、町内会の活動の拠点にもなり得るものがございますので、そういう活動に向けての地域の在り方、そういう部分で私ども、一緒に地域の方々とお話し合ひながら、よりよい方法という部分、一緒に考えさせていただきたいというふうにご考えておりますので、ご理解いただければと思ひます。

○司会 よろしかったでしょうか。

それでは、ほかにご意見ございませんか。まだお時間ございますので。

◆市民 2回目しゃべってもいいですか。

○司会 どうぞ。

◆市民 大成公住の■■■■でございます。

今のお話とも関連するんですけど、私のほうでは平成23年、この年に14階建ての道路側、言えば通路、これの補修をしていただいたんです。そのときに廊下の電気、これが昔のまんまの蛍光灯なんです。それで29年度のときに、平成ですよ。うちの町内会の中で8の1という自治会がございまして。そこが同じような工事をやったときに、廊下を全部LEDに直したんです

よ。そして話を聞きますと、蛍光灯からLEDに直したら電気料金が3分の1になった。これ、すごいですよね。それで今、9の1、隣の棟のやっぱり14階、ここも今、同じ工事をやってます。当然、LEDになります。ここのやつ、前に29年度のときに市に要望書を出したときには、その中で年間240万、それが恐らく3分の1ったら80万ぐらいですか、そのぐらいに下がるんではないかと思われま。それで私がお願いした29年度、LEDに直してくださいよ、それで言ったら、市のほうでは予算どうのこうの、それがC、言えば今でいうランクがCなんですよ。ということは、まず見込みがないということ、それがもう平成29年。それで今、令和2年です。これが要望書出せよというから出したら、全くその後は何もしてくれない。そういうことがありますんで、この経過というのはどうなってるか聞きたいなと、そのように感じます。以上です。

○司会 それでは、公住の廊下のLED化について、市のほうから回答お願いいたします。

◎住宅課長 ご苦労さまです。住宅課、深薮です。

市営住宅のLED化というか、電気設備の更新なんですけども、基本的には、これも前にお話ししたこともあるかと思うんですけど、改築工事なり改修工事のときについてはLED化を図っていくということで、大成町も含めて、順次工事に入るところはLED化を進めているということになっています。それでLED化ということで走り出したのが■■■■さんおっしゃるように27年から8年ぐらいにかけてだと思いますので、それ以降の工事については、そういう形で出させていただくという。そういう考え方が、LED化、一般化したっていったらちょっと変な言い方なんですけども、そういうことで進めてますんで、例えばこの大成に限らず、ほかのところも電気改修があるところについてはそういったことで一定進めておりますし、特に新築する住宅、日新町だとかについても、そういった設備のLED化ということで、これはもう一般的になってきてますので、そういったことで進めさせていただいていると。ただ、更新の時期がまだ来ないところについては、そこをLED化だけのために工事を行うということが、今ちょっとそういう金額がないんで、その他の改修に合わせて、できるだけ進めていくという形で進めさせていただいてるということでご理解いただきたいと思います。

◆市民 いや、ちょっとね。

○司会 どうぞ。

◆市民 それじゃね、そういう工事がなければそのまま、市のほうで言ってる状態でいいますと、平成49年までの状態ということで、私たちの棟は言えば39年か。それまで継続、維持するということになってますよね。7の1、7の2は平成26年、それで用途不要、それから1の2なんかもそういうような状態で2026年、27年で用途不要でそれ取壊しみたいなような状態になるように、市の状態では書いてありますよね。私たちの場合は39年かな、2039年、だから、まだ19年ぐらいある。そういったら今の状態でいえば、そういうような工事がなければ、そのまま今の状態でいくということになるわけですよ、違いますか。

◎住宅課長 改修の関係でいけば、用途廃止が間近なものについては、大規模な改修というのは行わないというのが基本的な考え方になるかと思うんですけども、維持管理をしていくというところに

については、その間に改修工事だとか修繕工事というのが入るわけなので、そのときに併せて行うということも考えられると思うんですよ。それが今ちょっと、改修工事の計画って長寿命化計画ということで今年、今、作成中なんですけども、整備計画を具体化した計画というのがもう少しでできますんで、そういうのができれば、皆様にこういった改修工事が入るということをお知らせできるのかなというふうに思ってます。

◆市民 いや、それでね。

○司会 今、マイクをお持ちいたします。

◆市民 うちの公住町内会で、蛍光灯であれしてるって8棟あるんですけども、8の1、9の1は現在やっています。それと13の1、それから1の1、7の1、7の2、1の1の2って、このやつがみんな蛍光灯なんです。それで、さっき言った7の1、7の2は用途廃止で恐らく更地にするか。だけど、1の1の2は今、トライアルという商業施設が入ってますよね。下はトライアルの商業ベースですけども、2階から上の7階までというのは、これ市のものというか、そういうことになってますよね。それが蛍光灯、そのままなんですよ。だから、言えば13の1と私たち1の1が2つ一緒にやるんだったら大きな事業じゃないですか、違います、それを何とかですね。町内会の中でそういうような、こっちは安くなった、こっちはそのままだって、それもちょっとおかしいんじゃないかと思うんですけども、いかがでしょうか。

◎住宅課長 整備計画が立てて、廃止する、新築するというのが整備計画の中で詰めさせていただいた。改修については、先ほど言ったように、長寿命化計画というのを今、作成中なんで、例えば大成の1の1のところの改修はいつですよ、13の1の改修はいつですよというのは、今年の1月にそういった考え方を進めさせていただく。それと先ほど言ったように電気設備が、その維持管理してる間にもたなくなったって言い方変なんですけど、改修の必要があれば、そのときに併せてLED化をするということになりますんで。個別の棟については、その計画を示したときにお話ししますし、基本的には、先ほど言ったように、大きな改修に合わせてやるというのが考え方なんで、あとは個別に修繕がどこまでやれるかだとか、そういった形で考えていきたいというふうに思っています。

◎都市建設部長 都市建設部長をしております栗野と申します。よろしく願いいたします。

日頃から市営住宅の、それから都市整備に関して市民の皆様にご理解とご協力をいただいておりますこと、この場をお借りしまして感謝を申し上げます。ありがとうございます。

今のお話でございますけれども、そもそもLED化というのは、機械が今でこそ普通にこうございますけれども、当時の例えば23年ですかね、平成23年頃はまだ高価で本当に普及していない時代でございます。なかなか今みたいに進んでなかったんですけども、先ほど言われましたように、27年ぐらいから普及が始まりまして、それに合わせて我々も、先ほど課長からもお話ありましたように、建物の改修に合わせて廊下の部分のLED化というのを一緒に進めてきたという経過がございます。それで今、 様の言われますように、同じ団地の中でLED化されてないところとされているところで不公平感があるというお話でございます。

ただ、私どももそこはできるだけ解消したいなという気持ちはあるんですけども、先ほど課長言いましたように、改修が近くにあれば、外壁改修とか、そういったときには当然、改修をさせていただきますし、ちょっとしばらく使われるということであれば、機械の寿命というのがありますので、蛍光灯自体のですね。その寿命に合わせた取替え、交換時期というのやってまいりますので、今、長寿命化って先ほど言いましたけれども、長寿命化計画というのを今つくってる最中でございますので、今、 様の言われましたご意見を踏まえまして、市内、たくさん市営住宅あるんで、なかなかすぐにといいところにはいけないかもしれませんが、ご意見いただきましたので、ちょっとそこら辺を、来年からすぐということにはちょっとなかなか難しいかもしれませんが、できるだけ早くそういった平準化が図られるような形でちょっと考えさせていただければなというふうに考えてございますので、よろしくお願ひします。

◆市民 お願ひします。

○司会 それでは、そのほかにご意見ございませんでしょうか。

◆市民 すみません。

○司会 どうぞ。

◆市民 大成13の1の、今話出た13の1の してる と申します。

今、LEDのことでお話聞いたんですけど、うちは蛍光灯なんですよ。それで切れるときは3本ぐらい一遍にぱあっと切れちゃうんですよね。だから、うちは高齢化住宅なものですから蛍光灯替えてくれる人もいないので、管理人さんに頼んで取り替えてもらうんですけど、もう大体、年間100本以上買うんですよ、蛍光管。それでももたないんですね、もうとにかく。それで役所にも何回も言ったんですけど、LEDにしてくれて。でも、電気の本体自身がそういう設備でないから駄目なんだということを知って、そのときは理解しながら帰ってきたんですけども、蛍光管買うお金も大変なので、なるべく早く、うちも98世帯ですからね、小さい住宅ですから、だから、そこを何とか早く、市長さんにお願ひしたいと思ひます。終わります。よろしくお願ひいたします。

◎市長 金さえあればすぐやります。

◆市民 そうよね。

◎市長 一つ例で聞いてほしいんですが、公住の問題ではありません、耐震化の問題がありました、学校の。やはり子供たちの安心・安全というのは、我々にとって最優先でやんなきゃいけない。様々な地震があつて、国からの指導もあつて耐震化やりました。ようやく今、ほぼあと1年で100%になります。この耐震化のプロセスをやるときに、建物はちゃんとしっかりまだしてますよって、20年、30年もちますと。ただ、耐震がやってないところについて、優先的に耐震やりました。しかし、もう建物そのものが、学校そのものが老朽化して、もう10年以内に大改修しなければならぬような学校については、耐震工事をして、それからまた何年かして大改修するんなら、無駄な税金の使い方になるので、そこはしばらく我慢してもらって、その大改修が最後、今、ずっとこの三、四年前からやってるんですけど、それがほぼ見通しがついて100%、耐震については苫小牧市は完成するということになるんですね。つまり、税金の無駄遣い

をどう排除するかということを考えないと、今、税収がこれから増える時代ではなくて減る時代なので、そこは我慢していただくところは我慢してもらって、ただ、どうしてもさっき言いましたけども、蛍光灯3つ切れるって、そういうとき30個切れるっていえば少し、こう。要は現在ついているあれがもう既に老朽化してて、コスト的に高くなるということが、役所のほうできちっと分かれば、そういうところに限ってはトータルコストを安くするのが、低くするのが我々の税金の無駄遣いを省くことですから、だから、今度ちょっとオーバーに言ったらどうですか。市長が言ったって言わないでよ。

いや、つまり、もう今は、何ていうのかな、維持管理倒産、もう我々、今、新規のものというのはそんなに、建て替えはありますけれども、全く新たな公共施設というのはそんなにもうないので、維持管理がメインになります、道路にしても建物にしても公共施設にしても。結果として維持管理倒産、次の世代が維持管理でもうギブアップするということがないように、もう今から効率的かつ効果的なお金の使い方をしていかなきゃいけないんで、我慢していただくところは我慢していただき、しかし、どうしても今現状の施設が、住民の皆さんにとってもう耐え難いようなトラブルあるいは故障あるいは破損がたくさん発生するようなときには、それは都市建設部が住宅のほうで担当してますが、そういうケースは今までもちゃんと見て、それがそうであれば、優先的ではなくて、そこは現在住んでる人が困ってることについては検討を進めると。今、栗野部長がそう言ってます。そう。

◎都市建設部長 はい。

◎市長 だから、その辺は、しかし、我慢していただくことは我慢していただき、住んでてどうしても耐え難いようなことがあったら、役所のほうと協議をしてもらえばいいかな。ただ、我々はやっぱり無駄遣いはできないということをご理解をいただきたいと思います。

○司会 それでは、ほかにいらっしゃいませんか。

◆市民 日吉町内会の■■■■でございます。要望事項、整理番号3番でございます。避難所の設備充実の改善をということでございますが、この反映区分がAになっておりまして、大変うれしく思っております。取組状況等につきましては、この活字である文章を見れば十分に理解できるわけでございますが、今日は危機管理室さんがお見えになってるはずでございますので、肉声をもってご説明いただければ、より一層市民が安心・安全につながると思いますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。

○司会 ありがとうございます。

それでは、要望事項3につきまして、市のほうからお願いいたします。

◎危機管理室長 ただいまご指名をいただきました危機管理室の前田と申します。よろしくお願ひいたします。

今回、避難所ということでご要望いただきました。ここ数年、全国的にも大規模な災害があつて、やっぱり避難所のシーン、よく皆さんもご覧になるかと思ひます。かつては、例えば昔の新潟の長岡の地震なんかのときには、体育館に避難した方、もう通路もなくて、皆さん、そこにいるような状況だったんですね。ところが、これはいろんな災害がある中で、国、北海道あるいは

苫小牧市の中でも、この避難所の開くということが随分進んできました。そういった中で、最近でいいますと、やっぱりその避難所の中のプライバシーという問題が出てきましたので、これ平成二十何年ですかね、最近なんですけども、苫小牧市の中でも間仕切りです、テント式の間仕切りなんですけども、こういうものは計画的に進めているところです。まだまだ100%ではありませんけども、今段階で大体500人分ぐらいの区分けを今、確保することができました。それから、最近コロナのこともありまして言われているのは、コロナの関係であります、地べたよりは少し高いほうがいだろうということで、段ボールベッドといったお話もあります。これについても、今まで私どものほうでは段ボールではなかったんですが、簡易ベッドというもの、これを福祉的な見地もありまして220台整備してました。今年コロナがありましたんで、ちょっと段ボールベッドも少し今、整備しようというふうに思っております。この避難所問題、本当に毎年毎年、新たな問題が出てきて、皆さんもいろいろと不安に思ってるかもしれませんが、今申しあげましたようなことも含めまして、これはまだまだ完成形ではありません、毎年いろんな課題が出てきます。そういったものも我々も真摯に受け止めながら、それと一方では財源的な問題もありますので、そのバランスも見ながら、何とか避難所の環境改善にこれからも努めていきたいというふうに思っております。以上でございます。

◆市民 ありがとうございます。

○司会 それでは、ほかにいらっしゃるでしょうか。
どうぞ。

◆市民 西町親交会の[]です。

僕はこのところ毎回この場でお聞きしているんですが、ごみの戸別収集というのかな、そのことについて去年もお聞きしました。今年までがというか、去年の話で、何ていうのかな、様子見の作業でやっていることで、結論としては来年あたりが出るというようなお話だったかなと思いつつながら、民報を見てましたら市の考え方が出ていましたので、答えは大体分かっているつもりです。ところが、今のお話ではないけれども、実際にやっぱり肉声でそのことを聞きたいものだというふうに思って本当は出てきたものですので、これは一体今後どのような終息の仕方をするのか、そのところをちょっとお聞きしたいなと思って発言しました。以上です。

○司会 ありがとうございます。

それでは、ごみの戸別収集につきまして、市のほうの回答お願いいたします。

◎ゼロごみ推進課長 環境衛生部の倉持と申します。日頃よりごみの減量、分別、リサイクルの推進、それからまちの環境美化にご協力いただき、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

それで、ご質問いただいた、去年も私のほうからごみの戸別収集の方向性についてお答えさせていただきました。ちょっと去年とあまり変わらない内容になってしまうかもしれませんが、戸別収集については従来のステーション方式とは違って、1軒ごとにポリバケツの容器にごみを排出していただいています。本市では平成28年度から市内14地区でモデル事業という形で試行しております。30年度、効果検証した結果、戸別収集により高齢者や障害者、子育て世帯のごみ出しの負担が軽減される、こういったメリットがあるにもかかわらず、なかなか収集時間

だとか作業者の負担が増えるといったようなこともあって、今の戸別収集自体の改善点、そういった問題点もあるというようなことで去年もお答えさせていただきました。市としましては、今後の高齢化社会を考えますと、戸別収集は必要な市民サービス、このように考えております。将来的に全市拡大する方向性というのは今も変わってはいません。ただ、人口減少に伴う税収減だとか労働者の不足、そういったものを鑑みると、今の時点ですぐに広げるといったことは申し上げにくいという状況、そこはご理解いただきたいというふうに思います。

ただ、だからといって何もしないというような形ではなく、去年から今年にかけて、少しだけですけれども、変わった部分といますか、我々のほうでも取り組んでいることがあります。それは戸別収集、今やっているモデル地区の作業を少しでも改善できないか、それによって効率化が図れないかというようなことで、まだ複数の町内会さんではあるんですけれども、そこに直接入らせていただいて、ごみ収集の作業員の方と一緒に回らせていただいて、問題点、例えば戸別収集始める際には、道路際に置いてくださいといったものが今、軒先、玄関先にあるようなところもあります。そういったようなところを一つずつ町内会で回りながら改善させていただく、玄関先に置いてくださいねというようなことを、直接、住民と話し合うだとかというようなことを今やらせていただいております。

先ほど来、財政的な話だとかというのも出ているんですけれども、あと、それから人手の話、そういったものを見合いながら、今後も改善に向けて進めてまいりたいと思いますので、ご理解いただきたいと思います。以上です。

○司会 よろしいでしょうか。

それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。

どうぞ。

◆市民 西町親交会の新富区の■■■■と申します。今、戸別のごみ収集で、うちは戸別のごみ収集の地域に入ってます。新富町は何か高齢化が進んでるということでそういうふうになっただけなんですけれども、私たちは戸別になってから大変助かってはいるんですけれども、戸別になって感じることは、暑いときも一生懸命走って集めてくれるので、本当に気の毒なぐらいなんですけれども、一応自分の責任として出すので、生ごみの水はちゃんと切ろうとか、畑に埋めれるものは埋めるようにしようとかという自覚ができたことと、あと雨がじゃんじゃん降っているときは、かわいそうだから今日のごみを出さないで、次回のときにまとめて出そうとかというふうに何か自覚ができたような気がするので、できれば全市が戸別になるとますますごみの量が減るんじゃないかなという気持ちはあります。以上です。

○司会 ありがとうございます。

今のご意見につきまして、市のほうからお願いいたします。

◎ゼロごみ推進課長 すみません、再度ご意見いただきまして、ありがとうございます。

戸別収集を始めまして、おっしゃるようにごみの量というのは、戸別収集をやっているところは間違いなく減っています。ただ、先ほど今お話にもあったように、ごみが出されてるかどうかというようなことを分かるようにするというようなことも、もしかしたら作業の改善に

つながるかもしれない。今そういったことについても検討させていただいているというところですので、ただ、先ほども申し上げましたように、これを一気に全市に広げるだとかということについては、なかなか今の状態では難しいということですので、戸別のメリットだとかということを理解していただいているということは非常にありがたいと思いますので、お礼を申し上げます。今後、広げていくかということについては、まだまだお時間をいただくということになりますので、よろしくをお願いします。

○司会 よろしかったでしょうか。

どうぞ、もう一度ですね。

◆市民 固定してごみのポリバケツを置いてる家庭が多いんですけれども、そこを一々見て走ってるんですね、入ってるか入ってないか。そうじゃなくって、ごみを入れたのを出しといて、持っていったら自宅に戻してもらおうようにしたら、あんなに走って歩かなくて済むんじゃないかなと思うんですよね。だから、市のほうでできるだけ固定して門のところにくりつけて置いとくと、みんな走って見て歩いて、空なのに見て歩いているのがよく見えるので、一旦戻すというか、玄関のほうに戻すように指導したらどうかなって考えてました。

○司会 では、よろしいでしょうか。お願いいたします。

◎ゼロごみ推進課長 今いただいたのは、恐らくずっと門のところに置きっ放しにするんじゃないくて、出すときだけ道路に近いところに置いていただく。恐らくそれ、有効な手だてだと思いますので、ちょっとその辺も含めて考えさせていただきたいというふうに思います。どうもありがとうございます。

○司会 ありがとうございます。

それでは、ほかにいらっしゃいませんか。

それでは、いらっしゃらないようですので……。

◆市民 いいですか。

○司会 どうぞ。

◆市民 時間いいですか。

○司会 はい、大丈夫です。

◆市民 ごくごく簡単なことなんですけど。

○司会 どうぞ。

◆市民 2点だけ。

○司会 マイク、どうぞ。

◆市民 街路灯の件なんですけど、LEDになってからもう既に5年たってるんです。それで当初、LEDになってから不点灯の場合は10年間、これは市のほうでもちますよということで、それ以降は電気料、それと不点灯の器具等々の破損等については町内会で見てくださいということで、私どもの町内会、ごめんなさいね、光洋町内会の■■■■です、ごめんなさい。そういうことで積立はしてるんです。LEDになってから、私の知ってる限り5件ほど不点灯がありました。しかし、業者に聞いてみましたら、LED器具そのものでなくてセンサーだということで、もう5

年以上たってますから相当LEDも長もちするんだなど。今までは雷がごろっと鳴るとぼんといっちゃうというようなことでしたけど、センサーが壊れても、これは町内会で持つことになるのかな、費用がかかることになるのかな、それが一つです。LED、それとセンサー、どちらにしてもつかないということになったとき、一体費用というのはどのくらいかかるものなのか。もし分かったら教えていただきたいな。

○司会 分かりました。ありがとうございます。

それでは、街路灯のLEDのセンサーの故障についてということで、市のほうから、それと費用についてもということで2点お願いいたします。

◎市民生活課長 町内会、地域担当しております市民生活課の野水でございます。防犯の関係で町内会さん、LEDの進めていただいていること感謝申し上げます。

まず、町内会さんのご負担ですけれども、これは従来からお話をさせていただいておりますが、町内会で防犯灯をつけていただく際には5分の3を市で助成させていただきまします。残りの5分の2を町内会でご負担をいただくという形で当初からお願いをさせていただいております。これは新規設置、また故障等による更新、それらも全て同額でございます。ですから、町内会で全額負担をしてつけるというような今、形にはなっておりませんので、ご理解いただきたい。LEDですけれども、業者さんによって機器については若干ばらつきあるんですけれども、私ども市としては、約5万ないし6万程度で設置がされるものというようなことで、各町内会さんのほうからご相談いただいた際にはお話をさせていただいております。

◆市民 5万、6万の5分の2が町内会、今までどおりでいいんですか。

◎市民生活課長 はい、従来どおり5分の2を町内会さんご負担いただきまして、市で5分の3を補助させていただく、これは今後も変わる予定は今のところございません。

◆市民 それともう一つ、耐用年数というのは……。

○司会 今、マイクをお持ちいたします。

◎市民生活課長 耐用年数につきましては、27年度当初に市内のLED化を進めさせていただいて、その際も約10年ほどということをお話をさせていただいております。それで、少し年数たちましたので、技術の進歩で何とかなるのかなと思ったんですが、やはり耐用年数については10年程度をめどにというのが今もそのような状況でございます。ただ、LEDという部分は電気がぱつと切れるわけではなく、照度が少しずつ落ちていく状況になります。ですから、10年たったから11年だからといって電気がいきなり消えるということではなく、今の照度が少しずつちょっと暗くなっていくというようなことで、寿命がくるというふうに言われておりますので、そういう時期に来たときに、町内会さんとして、やはり更新をする部分では何がしかのご負担をいただかなければならないものですから、それに向けての可能な範囲の中で積立てというものをお願いをしたいということでお話をさせていただいております。

◆市民 分かりました。

○司会 それでは、ほかにいらっしゃらないでしょうか。

それでは、これで意見交換を終了させていただきます。

最後に、本日のまちかどミーティングの終了に当たりまして、市長よりご挨拶をさせていただきます。

◎市長 いろいろご質問、ご意見等々聞かせていただきまして、誠にありがとうございます。いろいろ要望等についても、すぐできることはすぐやるし、時間かかることはご理解いただかなきゃいけないし、大変そういう意味では財政上難しい時代にも入っています。特にコロナ禍で来年、再来年と税収減るのは間違いないので、今うちの財政部にはもう造幣局持ってこいと、金刷れというふうに言っているんですけども、そんな中でも市民の皆さんに財政のことで心配かけないように、もう一つはやはり次の世代につけを回さないように、しっかりと対応していきたいなというふうに考えています。

最後になりますが、戸別収集について大変貴重なご意見をいただきました。先ほど053大作戦のときにごみの減量、リサイクルの推進、まちの環境美化で様々な課題、幾つかの課題を申し上げました。生ごみの問題、それから分別の徹底の問題あるいはポイ捨ての問題、しかし、我々もっと本質的な課題として、もう3年、4年前からこの戸別収集あるいはステーション収集の検討に入っています。高齢化が進めば進むほど戸別収集化というのは、市民の皆さんにとっては非常に有効な手段だということも分かっていますが、そのことによって、僕が当初考えてた以上にコストがかかる。もう一つは作業員の、さっきも言いましたが、相当ハードな負荷がかかる。もう一つは、四、五年前から、あらゆる業種業態で人員確保が非常に難しい。清掃作業員のそれぞれの会社も人員確保に大変な苦勞をしながらいるという現状がありますけれども、市としてはできるだけ中長期的にはやっぱり戸別収集化がいいんじゃないか。僕が053大作戦、ステージワン、市長になった次の年に、ごみの問題やってた最中に生まれて初めて清掃自動車に乗って半日回ったんですね。そして、いかに自分も含めて分別が徹底されていないか、もう13年前です。それをじかに分かって、やはり分別の徹底というのがごみの減量あるいはリサイクルの推進にどれだけ重要なことなのか。特に住宅街は割としっかり対応されていますが、やはりアパート、集合住宅、特に若い人たちがいるようなアパートは、もうでたらめの分別ということを実感しまして、本当は今年、部長会議構成メンバー全員に清掃自動車に乗って、1回体験することになっていました。しかし、このコロナでなかなかこれ難しいかないうふうには思っていますけれども、我々やっぱり市政運営を携わってる人間にとって、このごみ行政の問題というのは大変重要な問題です。コストもたくさんかかります。したがって、そういう部長会議構成メンバー自身が清掃自動車に乗って、1回体験してほしいなということで、いつかはこれやるんだろ。

◎環境衛生部長 一応来月やる予定です。

◎市長 来月。そういうこともしっかりしながら、みんなで市民の皆さんと向き合いながら、この収集問題、どうあるべきかいうことをしっかり方向づけをしていきたいなというふうに考えております。

最後になりますが、本当に夜分、ちょっと今日、寒くなかったですか、大丈夫ですか。最後までご出席いただきましたこと、改めて、重ねて御礼を申し上げまして、ご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございます。（拍手）

○司会 以上をもちましてまちかどミーティングを閉会いたします。

ご帰宅後には手洗い、うがいをぜひしていただきますようお願いいたします。どうか気をつけてお帰りください。

本日は誠にありがとうございました。